

特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所
第4回 通常総会 次第

日 時：平成29年5月24日（水）20時00分～

場 所：藤沢市市民活動推進センターB会議室

1. 開会のあいさつ
2. 総会成立の確認
3. 議長及び書記、議事録署名人の選任
4. 議案審議
 - 第1号議案 平成28年度事業報告（案）・会計報告（案）の承認の件
 - 第2号議案 平成29年度事業計画（案）・予算（案）の承認の件
 - 第3号議案 理事変更に関する件
 - 第4号議案 事務所所在地の変更に関する件
5. 議長の解任
6. 閉会のあいさつ

第1号議案 平成28年度事業報告(案)・会計報告(案)の承認の件

湘南ビジョン研究所 事業報告書(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 事業の成果

平成28年度に湘南ビジョン研究所では、湘南地域の持続可能な発展を目指し、環境系事業及び湘南ソーシャル系大学設立事業を実施した。

環境系事業においては、海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初の取得を目標に掲げ、環境活動を続けてきた。その結果、当団体協力のもと、平成28年度に鎌倉市がFEE(*)に対し、由比ガ浜海水浴場における「ブルーフラッグ」認証を申請し、同年4月13日にFEE国際審査委員会にてアジア初の認証を受けることができた。

なお、鎌倉市は平成29年4月に認証更新が内定し、当団体は鎌倉市から引き続き環境教育等への協力を要請されている。

平成28年度から茅ヶ崎市に対し「ブルーフラッグ」取得へ向けた普及啓発活動をスタートさせ、平成30年度の取得を目標に平成29年度も引き続き活動を進める。

湘南ソーシャル系大学設立事業においては、湘南地域の多様な市民や団体、企業、行政が集まる「まちづくりプラットフォーム」の形成を目指し、湘南ソーシャル系大学の設立を目標に掲げ、平成28年9月3日に湘南ソーシャル系大学設立準備委員会を立ち上げた。

湘南ソーシャル系大学は、『まちづくりは、人づくり』という基本理念のもと、湘南のまち全体をキャンパスと見立て、『地域とつながる新しい学びの場』を提供することを通じて、あらゆる世代の人々がそれぞれの個性や能力を発揮し、自分らしく輝いた人生を送るきっかけをつくる市民大学である。

平成28年度は、湘南ソーシャル系大学設立準備委員会の全体会合を10回開催し、大学設立に向けた準備を進めた。また、湘南地域の各団体からの依頼により大学設立構想についてプレゼンを実施し、設立準備委員会の活動を広く湘南地域の企業、団体、住民に周知した。

その結果、40名以上の委員や多数の外部協力者が集まり、大学の事業計画づくりを推進することができ、当事業によって湘南ビジョン研究所の認知度も高めることができた。

*FEEとは、環境教育プログラムを通じて持続可能な発展を目指す国際団体で、世界68の国と地域に加盟組織のある世界最大規模の環境NGOの一つ。<http://www.fee.global>

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ①湘南地域の活性化に関するビジョン策定事業(今年度事業実施なし)
- ②湘南地域の活性化に関するイベント事業

ア 鎌倉環境教育

鎌倉市由比ガ浜海水浴場のブルーフラッグ認証取得に伴い、次のとおり環境教育の実施及びコーディネート等に協力した。

事業名	概要	日程・規模	会場
ライフセーバーと遊ぼう	海の安全教室開催 鎌倉ライフガード	8月10日、11日 各20人	由比ガ浜海岸
※鎌倉でビーチコーミングをしよう	由比ガ浜海岸での ビーチコーミング	8月3日、17日 各20人（17日荒天中止）	由比ガ浜海岸
みんなでビーチコーミング	由比ガ浜海岸～材木座海岸ビーチコーミング	9月10日 25人	材木座海岸
※鎌倉の海、そして相模湾など深海域の謎 (中学生向け総合学習)	地域及び地球規模の深海域海洋環境の現状を学ぶ	9月15日 180人	横浜国立大付属 鎌倉中学校
ビーチヨガ	ビーチクリーンと ビーチヨガ体験	8月20日	由比ガ浜海岸

(事業名の※は主催（鎌倉市共催）無印は当法人がコーディネート、実施協力)

【受益対象者】

鎌倉市を中心とする、湘南地域、横浜地域住民、海岸を訪れる観光客など海岸の環境に関心がある方等

【従事者人員】 6人

【支出額】 108,003円（源泉徴収税等含む）

【開催日・参加人数】 上記一覧表のとおり

【開催場所】 上記一覧表のとおり



時空を超えた海からの贈り物とは!?

「浜辺で宝さがし～親子で楽しむビーチコーミング～」

山比が浜では、きれいな貝殻や海産物もたくさん。さまざまな海の生き物もたくさん。そして昔々の時代から今の時代までの「海の文化」が感じられる場所。夏休みの平日、大きく浜が引いた山比が浜で、宝物を探るの心ときどきいかがですか?

講師：海防大 山比海浜 主催：鎌倉市、NPO法人湘南ビーチユース

～日時～
第1回 2016/8/3 (水) 10:00～11:30
第2回 2016/8/17 (水) 10:00～11:30

～場所～
由比ヶ浜海岸 板の下(漁港エリア)

～募集人数～
親子20組 ともは小学生対象

～募集期間～
7/15(金)～募集人数に達するまで(先着順)

～応募方法～
下記メールアドレスへ必要事項を記入してご応募ください。

メールアドレス: blueflag.edu@gmail.com

必要事項: 参加したい日時(第1回または第2回ビーチコーミング)、住所、電話番号、氏名(親子2人)、子どもの学年

※一回につき子どもの人数が5人以上の場合はお申し込みはできません。

※第1回・第2回は、申し込みの締め切りは、当日の朝までお受けいたします。

問い合わせ: 鎌倉市 TEL: 070-5584-5421 MAIL: blueflag.edu@gmail.com

無料





イ 初夏の湘南海岸・浜歩き～未来に残したい湘南海岸を考える～

初夏の日差し、海風もほどよく吹く海辺で、波打ち際や砂浜、海岸林の生き物観察をし、海岸の「魅力と役割」を再発見しながら、今、海の現状を再認識し、私たちが「未来に残したい湘南海岸」を考えた。ビーチクリーン、ビーチコーミングも実施した。

【受益対象者】

湘南地域および周辺地域の住民

【従事者人員】 2人

【支出額】 2,000円

【開催日・参加人数】

5月29日 6人

10月16日 (人数少なく中止)

【開催場所】

引地川・鵜沼橋集合 茅ヶ崎ヘッドランドまで (距離 約5キロ)



ウ 湘南ソーシャル系大学事業

(ウー1) 設立準備委員会の発足

湘南ソーシャル系大学の設立準備メンバーを募集したところ約40人の応募があり、平成28年9月3日、湘南ソーシャル系大学設立準備委員会を発足させた。委員会では全体会合を10回開催し、大学設立に向けた準備を進めた。



【開催日】

- 7月24日 【第1回説明会】(参加者約30名)
- 8月3日 【第2回説明会】(参加者約30名)
- 8月18日 【第3回説明会】(参加者約30名)
- 9月3日 【第1回委員会】(参加者約30名)
- 9月17日 【第2回委員会】(参加者約30名)
- 9月30日 【第3回委員会】(参加者約30名)
- 10月12日 【第4回委員会】(参加者約30名)
- 10月23日 【第5回委員会】(参加者約30名)
- 11月11日 【第6回委員会】(参加者約30名)
- 11月26日 【第7回委員会】(参加者約30名)
- 12月10日 【第8回委員会】(参加者約30名)
- 12月26日 【第9回委員会】(参加者約30名)
- 2月5日 【第10回委員会】(参加者約30名)

【開催場所】

藤沢市市民活動推進センター他

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方 等



【従事者人員】 10人

【支出額】 136,370円

(ウー2) フォーラム等への出演

各団体からの依頼により湘南ソーシャル系大学の設立構想についてフォーラム等でプレゼンを実施した。

【開催内容・開催日・開催場所】

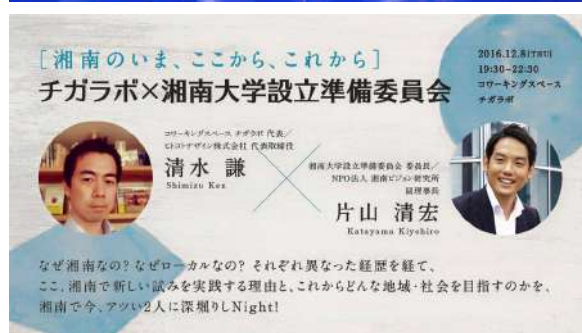
- ・「湘南4LOM合同懇談会(青年会議所(藤沢・茅ヶ崎・寒川・平塚))」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施(平成28年10月19日、グランドホテル神奈中平塚)。
- ・「江ノリニック・ミーティング vol.3」にて湘南ソーシャル系大学設立構想についてプレゼンを実施(平成28年11月19日、江ノ島ヨットハーバー)。
- ・「湘南事業家ビジネス交流フェア2016」に設立準備委員会として出展。「ブース賞」を受賞(平成28年11月18日・19日、藤沢商工会議所6階多目的ホール)。
- ・「チガラボ×湘南大学設立準備委員会イベント」にて湘南ソーシャル系大学設立構想についてトークライブを実施(平成28年12月8日、コワーキングスペース「チガラボ」)。
- ・「茅ヶ崎市倫理法人会経営者モーニングセミナー」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施(平成28年12月29日、ホテルサンライフガーデン)。
- ・「藤沢市倫理法人会経営者モーニングセミナー」にて湘南ソーシャル系大学設立構想について講演を実施(平成29年3月18日、㈱湘洋)。

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方等

【従事者人員】 10人

【支出額】 30,932円



(ウー3) プロモーション活動

湘南ソーシャル系大学の協力を増やすため、設立準備委員会の活動を広く湘南地域の企業、団体、住民に周知した。

【開催内容・開催日・開催場所】

- ・湘南ソーシャル系大学のロゴ作成（平成28年12月）
- ・ラジオ「7.7MHz FM チャッピー」出演（平成28年4月28日、7.7MHz FM スタジオ）
- ・ラジオ「J-wave WONDER VISION」出演（平成28年10月30日、J-wave スタジオ）
- ・ラジオ「レディオ湘南」出演（平成28年12月26日、レディオ湘南スタジオ）
- ・「タウンニュース藤沢」掲載（平成28年9月9日発行）
- ・「VOLUNTEERS 秋冬号」掲載（平成28年11月11日発行）

【受益対象者】

湘南地域住民、当大学に関心がある方等

【従事者人員】 10人

【支出額】 109,910円

③ 湘南地域の活性化に関する情報発信事業

広報・発信力強化プロジェクトとして、横断的なチームを立ち上げ、広報・発信力強化、企業・個人からスポンサーシップの獲得などに取り組んだ。今期は主として、スポンサーシップの獲得を主眼に、広報媒体の企画、簡易版パンフレットの制作を行った。

【受益対象者】

湘南地域企業・個人等

【従事者人員】 10人

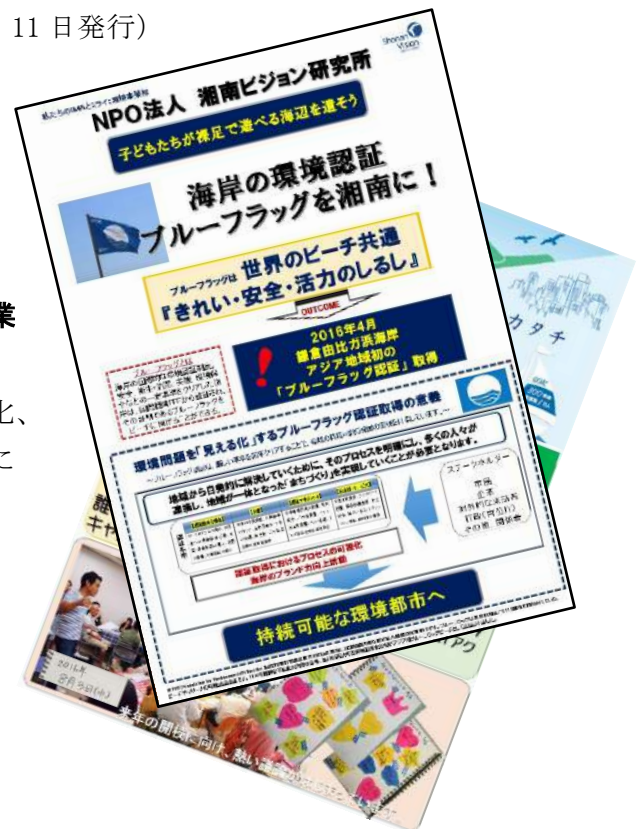
【支出額】 14,678円

④ 湘南地域の活性化に関する調査研究・コンサルティング事業

（今年度事業実施なし）

⑤ 湘南地域の海岸に関する国際認証基準の取得及び普及促進事業

海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初の取得を目標に掲げ、環境活



動を続けてきた。その結果、当団体協力のもと、平成28年度に鎌倉市がFEE(*)に対し由比ガ浜海水浴場における「ブルーフラッグ」認証を申請し、同年4月13日にFEE国際審査委員会にてアジア初の認証を受けることができた。

なお、鎌倉市は平成29年4月に認証更新が内定し、当団体は鎌倉市から引き続き環境教育等への協力を要請されている。

平成28年度から茅ヶ崎市に対し「ブルーフラッグ」取得へ向けた普及啓発活動をスタートさせ、平成30年度の取得を目標に平成29年度も引き続き活動を進める。

【主なアウトリーチ活動、プロモーション活動】

・〔江ノリンピック・ミーティング Vol.2〕(江ノリンピックムーブメント主催)

江ノリンピックムーブメントは、2020年の東京オリンピックに向けて地域の市民が自ら関わって楽しみ、さらに終了後に残る良い遺産を残したいという思いで活動している団体。当団体が主催するイベントで、湘南ビジョン研究所の「湘南都市構想2022」の海に関するプロジェクトについてスピーカーとしてプレゼンを行った。ファシリテーターとしても協力。

(片山副理事長、平成28年4月10日)

・〔江ノ島オリンピックで環境保全推進！！～ロンドンオリンピックに学ぶ～〕(湘南クリーンエイド倶楽部主催)

ブルーフラッグの取得の意義と湘南ビジョン研究所の活動を紹介した。

(富山理事、平成28年4月23日)

・〔鎌倉の海の未来語る～ブルーフラッグの可能性と由比ガ浜海岸の未来を考える〕(由比ヶ浜海岸の海の家「音霊 OTODAMA SEA STUDIO トークショー」)

由比ガ浜海水浴場がアジア初で取得した国際環境認証「ブルーフラッグ」について、片山副理事長及び会員である由比ガ浜茶亭組合の増田元秀組合長が「取得をきっかけに、海を良くしようという活動を継続していくことが大切」という趣旨でパネルディスカッションを行った。

(片山副理事長、増田由比ガ浜茶亭組合長、平成28年7月5日)

・〔江ノリンピック・ミーティング Vol.3〕(江ノリンピックムーブメント主催)

ロンドンの「ごみゼロ」オリンピックを学ぶセミナーで、パネラーとしてブルーフラッグの海岸の環境保全を通じたごみに関する基準などについてスピーチを行った。

(片山副理事長、増田由比ガ浜茶亭組合長、平成28年7月5日)



・〔ほのぼのビーチ第15回なぎさシンポジウム～よく知ろう 湘南海岸！鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚、大磯からの報告～〕

アジア初のブルーフラッグ認証取得の由比ガ浜海水浴場からの報告という趣旨で講演。
(白石理事長、平成28年10月30日)



第15回 茅ヶ崎なぎさシンポジウム
～よく知ろう湘南海岸！
鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚、大磯からの報告～

平成28年10月30日(日) 茅ヶ崎市勤労市民会館 6F A研修室
14:30開場 15:00開演 18:30閉会 その後 懇親会
入場無料(懇親会のみ別途お断り)

●講演1 「茅ヶ崎中海岸優良環境維持状況」
一般社団法人研究センター なぎさ総合研究所長 宇多高樹 様

●講演2 「ブルーフラッグ」アジア初取得の認証取得
由比ガ浜海水浴場からの報告
NPO法人 湘南ビジョン研究所 様

●パネリストディスカッション
・鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、大磯からの報告
パネラー
一般社団法人研究センター 宇多高樹 様
湘南ビジョン研究所 藤野裕次 様 他

●懇親会
注) 本講演会の方についてはお知らせに重要な事項を御注意ください。

主催 茅ヶ崎なぎさシンポジウム実行委員会
協賛 茅ヶ崎市長官舎 茅ヶ崎商工会議所/NPO法人 茅ヶ崎100年委員会
協賛 茅ヶ崎市観光協会/茅ヶ崎市観光協会/茅ヶ崎市観光協会
茅ヶ崎市観光協会/茅ヶ崎市観光協会
日本自然保護協会/茅ヶ崎自然保護協会
(協力) 一般社団法人研究センター なぎさ総合研究所/湘南海岸(大磯)の環境
(協賛) 白石理事長

石巻店
http://nifty.com
石巻店 茅ヶ崎なぎさシンポジウム
お問い合わせ 090-2211-2211

この日のビーチ 検索

Facebook: https://www.facebook.com/nagisa_symposium (藤沢、茅ヶ崎)
www.facebook.com/nagisa_symposium (茅ヶ崎)

【主催】ほのぼのビーチ茅ヶ崎
【後援】神奈川県茅ヶ崎市のまちづくり推進委員会/NPO法人 茅ヶ崎100年委員会
【協賛】茅ヶ崎市長官舎/茅ヶ崎商工会議所/茅ヶ崎市観光協会/茅ヶ崎市観光協会
【協力】日本自然保護協会/茅ヶ崎自然保護協会
(協力) 一般社団法人研究センター なぎさ総合研究所/湘南海岸(大磯)の環境
(協賛) 白石理事長

- ・〔鎌倉市の下水道障害にともなう、海洲の汚染状況の分析と市民への啓蒙〕
- ・〔雑誌 「河川」 に、ブルーフラッグ取得の意義についての論文を発表〕
- ・〔雑誌 「海洋調査協会」 広報誌にブルーフラッグ取得の意義について投稿〕

海洋調査 協会報 / No.125 平成28年7月

平成28年度定時社員総会
暑中お見舞い
私のオフィスのホット情報 女性が活躍する海上保安庁の職場(その3)
新シリーズ「新たな海の探検技術」
〈トピックス〉アジア初のブルーフラッグを取得

一般社団法人 海洋調査協会 JAMSA
Japan Marine Surveys Association

アジア初のブルーフラッグを取得
鎌倉市由比ガ浜海水浴場・高浜町若狭和田海水浴場
アジア航測株式会社 巻岐 信二

1. はじめに
2016年4月13日に行われたFEEの国際審査委員会において、神奈川県鎌倉市「由比ガ浜海水浴場」と神奈川県高浜町の「若狭和田海水浴場」が国際環境認証「ブルーフラッグ」(以下、BFとする)を取得しました。アジア地域初の快挙です。

2. ブルーフラッグとは
BFは、1985年にフランスで始まり、現在世界50ヶ国、約4000ヶ所が取得しているビーチやマリナに与えられる環境認証です。特にヨーロッパでの認知度は高く、イタリア・スペイン・ポルトガル等の有名ビーチにはBFが掲げられ、人々はBFが掲げられているビーチを目指してバカンスに訪れます。BFの認証団体はFEE (Foundation for Environmental Education) で、日本は特定非営利活動法人FEE JAPANが正式加盟団体として2006年に承認されています。BF認証では「単にきれいなビーチ」ではなく、環境教育と情報、水質、環境マネジメント、①安全性とサービスの4分野33項目に関する厳しい基準を達して、ビーチやマリナにおける持続可能な発展の実現を目指しています。基準を満たし認証が与えられると、質の高さを示す証であるBFをビーチに掲げることができます。一方、BFには1年ごとに更新があり、基準が満たされないと認証を取り消す決まりとなっています。

3. ブルーフラッグ取得のきっかけ
筆者はNPO法人湘南ビジョン研究所に所属しています。当研究所では、湘南地域の各自治体だけでなく、解決困難な成域的な課題、例えば津波対策、慢性汚染、観光・産業振興などの解決に向けたまちづくりビジョン「湘南都市構想2022」を市民の立場で策定しました。BFはこの構想の中核にあたり、湘南地域で日本初のBF取得をめざすと同時に、これを日本のビーチやマリナへ普及させ、湘南からアジアへエコ認証制度を発信することを目標に活動してきました。由比ガ浜海水浴場のBF取得にあたっては、ビーチクリーンを実施したり、一般向けに「ブルーフラッグ・カフェ」を11回開催して、BFを同時取得した高浜町やFEEの専門家を招請して意見交換を行うことで、BFの認知度を上げていきました。また、認証の審査基準の一つである水質調査 (pH、SS、重炭酸カルシウム濃度、塩素遊離) は、2015年7月26日から8月22日までの間に20日間行い、海の家を営む「由比ガ浜基準委員会」と「由比ガ浜監視所」のライフセーバーに協力いただきました。(図-1)

図-1 水質調査を協力頂いた由比ガ浜監視所

4. おわりに
BFの取得は、近年海の家のクラブ化問題に対する各種規制強化により、集客が減少していた海の家にとって明るい話題となりました。また、2020年の東京オリンピックの開催に向けて、今後、世界から日本への注目が高まることが予想される中、環境、観光資源をアピールする絶好の機会となるでしょう。

参考文献
1) 巻岐信二・長山浩一・片山浩志「湘南都市構想2022」～つながらう湘南、ひらかう湘南～、海洋調査協会第36回技術発表会、2013.

執筆者：巻岐会員

⑥ その他法人運営に関する活動

ア 法人運営活動

ブルーフラッグ取得に関する広報活動として、主に鎌倉由比ガ浜海水浴場のブルーフラッグ取得について、ホームページ、F B等で積極的に発信した。また、由比ガ浜海水浴場の海開きにゲスト参加した。

広報媒体、新規会員や協賛企業を募るためのツールとしてHP情報の更新を行った。

NPO向けのパソコン機器助成を受けることができ、プレゼンテーション、モバイルでの打ち合わせ、会議、事務局強化等の目的で活用した。

【支出額】 27,587円

イ その他事務管理

法人として必要な事務管理経費として次のとおり支出した。

- ・会議室、会議に関わる資料印刷代
- ・会議、セミナー用備品購入、通信費、輸送費等
- ・名刺作成費、大学用事務用品等

【支出額】 30,272円

ウ 理事長活動費等

対外的な広報宣伝活動の一環とした理事長、副理事長が活発に活動した。

(湘南地域の海岸に関する国際認証基準の取得及び普及促進事業及び湘南大学事業参照)

【支出額】 0円



貸借対照表（特定非営利活動に係る事業会計）

平成 29 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
	現金預金	726,071		
	未収入金	39,610		
	流動資産合計		765,681	
	資産合計			765,681
II 負債の部				
1 流動負債				
	前受金	9,000		
	預り金	6,172		
	流動負債合計		15,172	
	負債合計			15,172
III 正味財産の部				
	正味財産			750,509
	(当期正味財産増加額)			397,363
	負債及び正味財産合計			765,681

財産目録（特定非営利活動に係る事業会計）

平成 29 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	87,731		
普通預金	横浜銀行関内支店	336,762		
普通預金	みずほ銀行大森支店	301,578		
未収入金	市民会館使用料キャンセル返金分	39,610		
	流動資産合計		765,681	
	資産合計			765,681
II 負債の部				
1 流動負債				
前受金	平成 29 年度 3 名分会費	9,000		
預り金	源泉所得税	6,172		
	流動負債合計		15,172	
	負債合計			15,172
	正味財産			750,509

活動報告書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

法人の名称 特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所

（単位：円）

科目		金額	
I	経常収益		
1.	受取会費		
	正会員受取会費	232,000	
	賛助会員受取会費	10,000	242,000
2.	受取寄附金		
	受取寄附金	278,000	278,000
3.	受取助成金等		
	受取助成金	300,000	300,000
4.	事業収入		
	イベント収入	121,003	121,003
5.	その他収益		
	受取利息	3	3
	経常収益計		941,006
II	経常費用		
1.	事業費		
	(1) 経費		
	諸謝金	82,315	
	旅費交通費	39,572	
	通信費	3,795	
	交際費	1,650	
	会議費	71,470	
	印刷製本代	50,680	
	保険料	2,000	
	消耗品費	23,972	
	広告宣伝費	109,910	
	支払手数料	2,214	387,578
	事業経費計		
2.	管理費		
	(1) その他経費		
	通信費	20,473	
	会議費	5,140	
	印刷製本費	9,273	
	消耗品費	32,773	
	支払手数料	1,620	
	雑損失	86,786	
	管理費計		156,065
	経常費用計		543,643
	当期経常増減額		397,363
	税引前当期正味財産増減額		397,363
	法人税、住民税及び事業税		
	当期正味財産増減額		397,363
	前期繰越正味財産額		353,146
	次期繰越正味財産額		750,509

監 査 報 告 書

平成 29 年 5 月 11 日

特定非営利活動法人湘南ビジョン研究所
理事長 白石 学 様

監事 小清水 康二

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人湘南ビジョン研究所の平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（貸借対照表、財産目録及び収支計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、全体会議事録に基づき行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款及び平成 28 年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が特定非営利活動法人湘南ビジョン研究所の平成 29 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

第2号議案 平成29年度事業計画(案)・予算(案)の承認の件

湘南ビジョン研究所 事業計画書(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1 目指す事業の成果

平成29年度も湘南ビジョン研究所では、湘南地域の持続可能な発展を目指し、環境系事業及び湘南ソーシャル系大学設立事業を実施する。

環境系事業においては、海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初の取得を目標に掲げ、環境活動を続けてきた。その結果、当団体協力のもと、平成28年度に鎌倉市がFEE(*)に対し、由比ガ浜海水浴場における「ブルーフラッグ」認証を申請し、同年4月13日にFEE国際審査委員会にてアジア初の認証を受けることができた。

鎌倉市は平成29年4月に認証更新が内定し、当団体は鎌倉市から引き続き環境教育等への協力を要請されている。

平成28年度から茅ヶ崎市に対し「ブルーフラッグ」取得へ向けた普及啓発活動をスタートさせ、平成30年度の取得を目標に平成29年度も引き続き活動を進める。また、藤沢市における2020年東京オリンピックセーリング競技を見据えて、江の島湘南港におけるマリーナ認証取得も視野に入れた活動を行っていきたい。

今後はこのブルーフラッグ認証を維持し、さらに湘南の海に広げていくため、湘南地域の市民に向け、ブルーフラッグの意義について周知、啓発活動を進め、市民の力で認証取得・継続に繋げるべく活動を強化し、また、日本におけるバリアフリービーチの推進に力を入れていきたい。

また、FEE ジャパンとともに、大人や子どもたちにする環境教育のモデルを構築し、プログラム認証制度についても研究を進めていきたい。市民、行政、他団体と協働し、ブルーフラッグ認証制度を湘南地域の海岸に根付かせるためにさらなる高みに向けて進めていく。

湘南ソーシャル系大学設立事業においては、湘南地域の多様な市民や団体、企業、行政が集まる「まちづくりプラットフォーム」の形成に向けて、平成29年秋頃の開校を目指す。

湘南ソーシャル系大学は、『まちづくりは、人づくり』という基本理念のもと、湘南のまち全体をキャンパスと見立て、『地域とつながる新しい学びの場』を提供することを通じて、あらゆる世代の人々がそれぞれの個性や能力を発揮しを發揮して、自分らしく輝いた人生を送るきっかけをつくる市民大学である。

平成29年度は、秋頃の開校に向け、授業の企画及び講師の選定、受講予約システムの構築、プロモーション等を行う。また、企業・大学・団体等からスポンサーシップの獲得などに取り組む。開校後は毎月、定期的に授業を開催する。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 湘南地域の活性化に関するビジョン策定事業

湘南ソーシャル系大学設立事業に相当(詳細は②)



② 湘南地域の活性化に関するイベント事業

ア 湘南ソーシャル系大学設立事業

平成29年秋以降の開校に向け、市場調査、授業の企画及び講師の選定、受講予約システムの構築、ホームページ、パンフレット等の作成を行う。企業・大学・団体等からスポンサーシップの獲得などに取り組む。開校後は毎月、定期的に授業を開催する。

【開催日】 平成29年4月～

【開催場所】 湘南地域全体

【受益対象者】 湘南地域の市民全般等

【従事者人員】 40人

【支出見込額】 1,620,000円

(主な支出) 市場調査費 50,000円

ホームページ構築費 300,000円

受講予約システム構築費 180,000円

印刷製本費(パンフレット、大学通信、チラシ等) 150,000円

通信費(電話代、サーバー代、郵送料) 170,000円

開校式(会場代、ゲスト謝礼等) 200,000円

講師謝礼(授業) 120,000円(12回×10,000円)

授業企画者謝礼 60,000円(12回×5,000円)

会議費(会場使用料) 120,000円(12回×10,000円)

旅費交通費等 30,000円

備品(プロジェクター、看板等) 200,000円

消耗品費 40,000円

イ 環境教育(全体名称)(事業プログラムにより名称が異なる。)

ブルーフラッグの普及啓発活動として、環境系セミナー及び環境保全活動を実施する。事業実施に際しては、巻き込み力の強化のため外部団体との連携なども模索する。

(イ-1) 茅ヶ崎市を中心とした環境教育事業の推進

茅ヶ崎市を中心とした湘南地域等において、ブルーフラッグの市民への周知、啓蒙を図る環境教育を実施する。

【開催日】 平成29年8月～平成30年3月にかけて4回程度実施

【開催場所】 湘南海岸地域

【受益対象者】 湘南海岸地域、横浜市、神奈川県中央地域 市民全般 等

【従事者人員】 8人

【支出見込額】 150,000円

(主な支出) 講師謝礼(セミナー) 40,000円

会場費	30,000 円
役務費	35,000 円
消耗品・雑費・など	45,000 円

(イ-2) 浜歩きプログラムとして自然教育活動の推進

平成27年度より実施している海の環境教育、生物多様性を学ぶシリーズ。

【開催日】 平成29年5月、10月等を予定

【開催場所】 鵠沼海岸から平塚海岸にかけての相模湾沿岸地区、藤沢、鎌倉等

【受益対象者】 市民全般 等

【従事者人員】 4人

【支出見込額】 4,000 円

(主な支出) 保険料、雑費 4,000 円

③ 湘南地域の活性化に関する情報発信事業

(今年度事業予定なし)

④ 湘南地域の活性化に関する調査研究コンサルティング事業

(今年度事業予定なし)

⑤ 湘南地域の海岸に関する国際認証基準の取得及び普及促進事業

ア ブルーフラッグ推進事業

行政、利害関係者、関係団体などへブルーフラッグの普及啓発活動を推進する。

(ア-1) 茅ヶ崎市へのブルーフラッグの提案と推進に向けた普及啓発活動

- a. 茅ヶ崎市を中心とした湘南地域等において、ブルーフラッグの市民への周知、啓蒙を図る環境教育を実施する。
- b. 行政、利害関係者、関係団体などへのブルーフラッグ普及啓発活動を推進する。取得と推進に向け協議会の設置を目指す。
- c. 市民の参加を働きかけるために、地域内の環境団体との積極的な連携を進める。

(ア-2) 鎌倉市のブルーフラッグ推進

平成28年度と同様、環境教育について協力依頼を受けている。当法人としての協力内容については未定。

(ア-3) 江の島湘南港におけるマリーナ認証取得へ向けた活動

神奈川県、関連セーリング団体などへのブルーフラッグ取得へ向けた基礎的な活動として、神奈川県及び藤沢市、湘南港管理団体などへの普及啓発活動を行う。

【開催日】	平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月	
【開催場所】	鎌倉市、茅ヶ崎市、藤沢市、横浜市（神奈川県庁）	
【受益対象者】	鎌倉市民、茅ヶ崎市民、藤沢市民、神奈川県民	
【従事者人員】	4 人	
【支出見込額】	21,000 円	
（主な支出）	配布資料等印刷	10,000 円
	雑費	11,000 円

（２）その他法人運営に要する費用

ア 法人運営活動

新規会員や協賛企業を募るため、法人の広報活動を行う。

【従事者人員】	3 人	
【支出見込額】	49,000 円	
（主な支出）	ホームページ管理等広告宣伝費	20,000 円
	パンフレット費作成、印刷等	23,000 円
	雑費	6,000 円

イ その他事務管理

【従事者人員】	3 人	
【支出見込額】	45,000 円	
（主な支出）	消耗品費	20,000 円
	会議費	13,000 円
	旅費交通費等	5,000 円
	通信費	5,000 円
	支払い手数料	2,000 円

ウ 理事長活動費等

【従事者人員】	1 人	
【支出見込額】	6,000 円	
（主な支出）	交際費	6,000 円

活動予算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

法人の名称 特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所

（単位：円）

科 目		金 額	
I	経常収益		
1.	受取会費		201,000
	正会員受取会費	201,000	
	賛助会員受取会費	0	
2.	受取寄附金		10,000
	受取寄附金	10,000	
3.	受取助成金等		400,000
	受取助成金	400,000	
4.	その他収益		744,000
	参加費、授業料等	744,000	
	経常収益計		1,355,000
II	経常費用		
1.	事業費		
	(1) 経費		
	諸謝金（講師料等）	220,000	
	印刷製本費	160,000	
	会議費	150,000	
	旅費交通費	30,000	
	通信費	170,000	
	消耗品費	50,000	
	保険料	2,000	
	雑費	246,000	
	役務費	767,000	
	事業経費計		1,795,000
2.	管理費		
	(1) その他経費		
	印刷製本費	24,000	
	会議費	7,000	
	交際費	6,000	
	旅費交通費	5,000	
	通信費	5,000	
	広告宣伝費	20,000	
	消耗品費	20,000	
	支払手数料	2,000	
	雑費	6,000	
	役務費	5,000	
	管理費計		100,000
	経常費用計		1,895,000
	当期経常増減額		△540,000
	税引前当期正味財産増減額		△540,000
	法人税、住民税及び事業税		0
	当期正味財産増減額		△540,000
	前期繰越正味財産額		750,509
	次期繰越正味財産額		210,509

第3号議案 理事変更に関する件

役員名簿

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 湘南ビジョン研究所
--------------	---------------------

役名	氏名	就任期間	報酬の有無	備考
理事	白石 学	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	片山 清宏	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	石原 尚	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	上野 真由美	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	海津 ゆりえ	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	片山 久美	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	新任
理事	加藤 道夫	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	越川 翼	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	関水 裕子	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
理事	中村 容	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	新任
理事	平林 政夫	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	
監事	小清水 康二	平成29年5月24日～第5回通常総会	なし	

■退任

理事	富山 渉			退任
----	------	--	--	----

第4号議案 事務所所在地の変更に関する件

下記を新事務所所在地とする。

【事務所所在地】

〒251-0027

神奈川県藤沢市鵜沼桜が岡3丁目9番29号 片山 宅

以上